

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校（鹿児島県）

＜教育利用＞ ④ 「画像生成AIで美術の苦手をサポート」

発想・構想の段階でイメージし、画像生成AIで図像化する活動

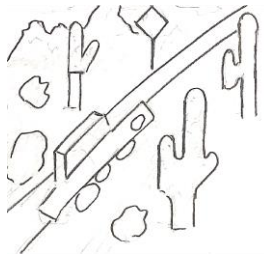
授業のながれ

情景模型「ジオラマ」を作ろう

- 1 使用したいフィギュアを持ってくる
- 2 フィギュアの周囲の情景を考えスケッチをする。この段階で画像生成AIを使う。
- 3 粘土や絵の具で制作していく

本時の生徒の活動

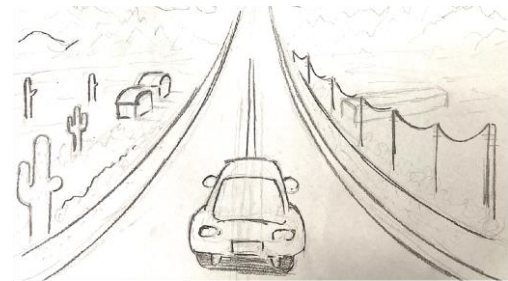
最初の発想
何も参考にせず
スケッチ



「Bing Image Creator」
により、AIで画像生成し、
様々なパターンを作成



作成された画像を参考に
自分の構図にアレンジ



まとめ

ねらい通り、発想段階でAIを活用すると、予想外のイメージが生成され、それが自分の発想を広げるきっかけになる事に繋がった。言語から画像を生成することは、美術で使う技術とは全く異なる技術が必要で、新たな才能の片鱗をのぞかせる生徒もいた。今後、より複雑なAIの使い方も提案したいことから、更に研究を深め、授業に役立つ切り口を検証したい。